

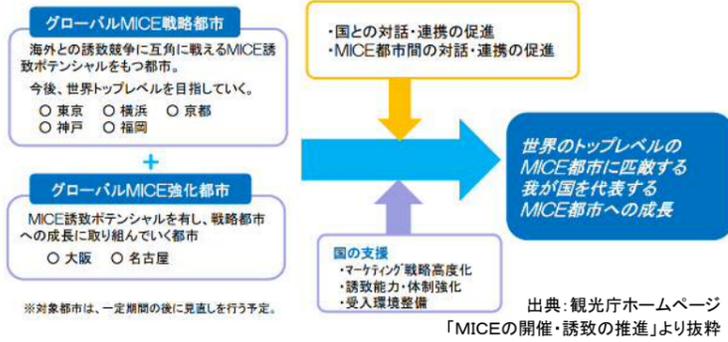
# 都心型 MICE について

## <MICE をめぐる国の議論・取り組み>

・都市再生の推進に係る有識者ボードのもとにMICE施設機能向上WGを設置、日本のMICE施設に必要な機能や整備の方向性及び機能向上のあり方等について検討中。

- その中で「都心型MICE」についても言及されており、「都市再生を通じた都心における都市機能集積の一層の充実や施設間連携の強化を図ることにより、MICE施設としての機能強化を図る」ことが論点の一つとして示される。

・国では、日本の MICE 誘致競争を牽引できる実力ある都市の育成を狙い、平成 26 年 6 月に「グローバル MICE 戦略都市」(5自治体)「グローバル MICE 強化都市」(2自治体)を選定し、世界トップレベルの MICE 都市を目指し、アドバイザー派遣、プロモーション支援、ステークホルダーの連携促進等の事業を都市と共に実施中。



## <都心型 MICE の大阪府・大阪市での取り組み>

・国家戦略特区提案(平成 25 年 9 月)において、「ビジネス・資金環境、都市型 MICE 機能のグレードアップ」を掲げ、うめきたや水都再生等と連動した新たな都心型 MICE 施設の開発を推進。

・大阪観光局において MICE 誘致に向けた取り組みを強化し、下記の取り組みを推進中。

- 従来行政主導型であった MICE 推進を、官民一体となったオール大阪としての取組へ移行し、MICE 産業の更なる活性化に向けて MICE 事業者の連合体「大阪 MICE ビジネス・アライアンス」を設置。
- MICE 主催者団体に大阪の魅力を伝える「大阪 MICE デイステイネーション・ショーケース」を平成 25 年 12 月に初開催。今年も平成 26 年 12 月に大阪で開催予定。

<国家戦略特区提案(平成 25 年 9 月)>  
○アフターコンベンションの都市魅力と連携した都心型MICE、インハウンドの展開  
・充実した都市機能を基盤として、既存の国際会議場、大規模展示場やうめきたエリアとの連携、水都再生と連動した新たな都心型MICE施設の開発



「大阪 MICE ビジネス・アライアンス」第 1 回総会(平成 25 年 12 月開催)では、「大阪 MICE ビジネス振興セミナー」を大阪観光局と定期的に共催しながら、幅広いビジネス関係者が連携し、情報共有、スキルアップを図り、MICE 開催都市大阪の魅力を外内に協力して発信していくことが確認された。

出典：「大阪コンベンション ニュース Vol.140」(大阪観光局)より抜粋

## <都心型 MICE の海外での取り組み例>

### ①一体型(オールインワン)の「MICE エリア整備」

・シンガポールや韓国では、MICE 開催に必要な各種施設(会議施設、ホテル、飲食・物販、エンターテイメント等)がオールインワンで徒歩圏内に立地した MICE エリアを整備、利便性についての高い評価を受けている。

### ②「ユニークベニュー」※の取り組み

※歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場

・海外都市においては、MICE が開催されるのに合わせた文化施設や公的空間等を利用したレセプション等の開催は、MICE 誘致の観点から一般的。

#### 海外のユニークベニューの取組み

・ウィーン市内には数多くの宮殿や博物館・美術館があり、これらを活用したウィーンならではの歴史・文化、音楽に関連した多様なMICEを開催することができ、規模においても大規模なパーティーから少人数の会議までが可能。



出典：都市再生の推進に係る有識者ボードMICE施設機能向上WG(平成 25 年 2 月 7 日(木)開催) 第2回資料より

#### 国内のユニークベニューの取組み

・文化財や美術館等を舞台としたユニークベニューを実施。  
・国で「ユニークベニュー利用促進協議会」を設置した他、「ユニークベニューHANDBOOK 博物館・美術館編」を発行。

<ユニークベニュー活用事例>



出典：観光庁ホームページ

## <都心型 MICE の国内での取り組み例>

### ①東京都の取り組み

・MICE 受入施設が集積するエリアで、関連する主体が一体となって受入環境整備に取り組むための核となる団体等を公募し、団体及び地域を「東京ビジネスイベント先進エリア」として3地区指定、取り組みを展開し、支援を行う「MICE 拠点育成支援事業」を実施。

### ②大手町・丸の内・有楽町地区における「都心型 MICE」の展開

・2012 年度に東京国際フォーラム・帝国ホテルで開催された IMF・世界銀行総会において、地元地域としての取り組みを展開し、まちへの影響と効果をアンケートにより調査。これを契機として、本エリアならではの都心型 MICE のあり方について検討をスタート。「街全体」をショーケースと見立て、イベントやレセプション会場として積極的に活用。

・「質」が求められる MICE では、「企業集積」、「交通利便性」、「都市の魅力(歴史、トレンド)」により質の高い出会いを生み、産業創出する場として「都心型 MICE」が重要、という認識を発信。

■都心型MICE推進に向けて「特別なイベント開催場所として「街全体」を活用(街をショーケースに)



都心における「街の資産」をイベントやレセプションの会場として積極活用特に、「東京駅・皇居景観」は日本を代表する開催地区として独自性・インパクト大

■都心型MICE推進による目的～産業創出・交流・事業マッチング等を誘発する都市づくり～



MICE施設、再開発による都市機能、企業ネットワークを活用し、都心エリアの産業創出・交流を促進させる都市を形成

出典：都市再生の推進に係る有識者ボードMICE施設機能向上WG 第2回(平成 25 年 2 月 7 日(木)開催)資料より抜粋



大阪市内のコンベンション施設、ユニークベニュー等を視察する「大阪市内 MICE カテゴリー別ツアー」(平成 26 年 12 月 4 日開催予定)

出典：イベントホームページより

